

新潟県上越市	●活動名	●関係する学校名
	城北中学校区子どもを育てる会	上越市立城北中学校 上越市立東本町小学校 上越市立飯小学校 上越市立大町小学校

協働活動開始年度	平成 21 年度	学校運営協議会	指定・設置日	地域学校協働本部	有
			平成24年4月1日設置		
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習	地域人材育成		
	—	—			
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		
	—		8人		
ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	ICT機器活用		
	50人	無	無		
参考URL	http://www.johoku.jorne.ed.jp/				
●連絡先	上越市教育委員会 社会教育課	☎	025-545-9245		



●活動の概要・経緯

城北中学校区子どもを育てる会は、平成21年6月9日に設立し、地域が学校と連携して主体的に地域の子どもの健全育成について考え、その推進に寄与することを目的に活動している。

育てる会の構成員は、町内会や子ども会、PTA、小・中学校の教職員、主任児童委員会、保護司会等の様々な団体が参画していることから、地域と学校との活動を行う上で、円滑に連絡・調整ができる体制となっている。

平成24年4月からは小・中学校に学校運営協議会が設置され、その設置当初から、育てる会の委員や地域コーディネーター（平成31年4月からは地域学校協働活動推進員）が学校運営協議会委員として参画しており、学校運営協議会と育てる会が両輪となって地域の子どもを育てる活動を推進している。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①青少年演劇集団「スタートライン」…地域で組織される「城北中学校区子どもを育てる会」が主催となり「演劇」を公演している。演者は城北中学校の生徒希望者で、演劇指導は城北中学校の卒業生である地域住民の方が行い、保護者や中学校卒業生は公演当日の受付や駐車場整理に当たる。公演は城北中学校体育館で3日間行われ、多くの地域住民等が観覧に訪れるなど、城北中学校の文化・伝統になっている。また、学区内の小学校6年生が観覧し先輩の演劇に直接触れることで、「中一ギャップ」解消の一助になっている。
- ②あいさつ運動…育てる会が主体となって地域と学校にあいさつを行う日呼びかけ、最寄りの小・中学校や主要な交差点などに地域住民や教職員、児童・生徒が集い、地域と学校が一体となってあいさつを行っている。

【実施に当たっての工夫】

青少年演劇集団「スタートライン」の開催にあたっては、城北中学校の卒業生でもある地域住民の方が指導者となり、中学生のために本番までの約2ヶ月間、演劇指導を行っている。毎年、育てる会の委員だけではなく、保護者や中学校卒業生も「スタートライン」の企画・運営に協力し、地域と学校が一体となって取組を進めている。

【関係機関・団体等との連携状況】

育てる会の委員や地域学校協働活動推進員が関係する各校の学校運営協議会の委員として参画しているとともに、幼保園長や小・中学校長、教職員が育てる会の構成員として参画していることから、地域と学校の連絡調整を円滑に行われている。また、育てる会の構成員に町内会や子ども会、主任児童委員会、保護司会等の多くの団体が参画しており、地域が一体となって子どもの成長を支える体制となっている。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

「スタートライン」は、演者となる中学生をはじめ、運営に携わる中学校卒業生や保護者、教職員など、城北中学校を舞台として地域と学校が一体となって行われている活動である。この積み重ねにより、城北中学校の文化・伝統として地域と学校の中に活動が根付いており、それが起点となって、育てる会の他の活動である「あいさつ運動」や「大人のための学習会」等への地域住民や教職員への参加が広がっている。特に「あいさつ運動」では、運動開始当初に比べ、町内会からの関心が高まり、運動に参加された方が次の運動の際には他の方にも参加を呼びかける等、参加者が年々増加している。

● その他

育てる会とPTAが連携して、防犯や性教育、健康、アウトメディア等の講習会を開催することで、子どもたちの健やかな成長を支えている。また、学校運営協議会で学校・地域協働の教育課程を検討し、地域人材や地域教材の積極的活用による学習支援を行っている。



「一民一
緒とあ
いに小
取りさ
取・中
り中
組学
む生
動、
教は
職員
員が
住



「地大
学域
ぶの
大人
のた
め
の学
習
会」
が一
緒
で